

科目名		学科/学年	時期	授業形態
伝承美学		トータルビューティ学科/ 1年	通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	30回	2単位(30時間)	必須	
授業の概要				
日本の伝統文化である華道や茶道について、実習を交えながら学び、日本のおもてなしについて理解を深める。1年次の華道では、季節の草花を用いた作品作りと日本の伝統行事について、2年次の茶道では茶盆点点法を通して、日本人としての美しい所作やマナーについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
日本の総合芸術を通じて、日本人が大切にしてきた美しい所作や立ち居振る舞い、美しい言葉づかいや感性を磨き、おもてなしの心を養う。そして、これからのグローバル社会の中でも活躍できる、自律した現代女性に相応しい一流の美を身につけることを目指す。				
教員紹介				
【華道】池坊で国際的に活躍している講師が、自身の経験に基づいて授業を行う。				
回	テーマ	内容		
1～3	華道	華道①【5月】命ある花との出会い、端午(伝統行事)		
4～6	華道	華道②【6月】季節感を考える(夏)		
7～9	華道	華道③【7月】七夕(伝統行事)		
10～12	華道	華道④【9月】重陽(伝統行事)		
13～15	華道	華道⑤【10月】季節感を考える(秋)		
16～18	華道	華道⑥【11月】ミスパリ祭に向けて		
19～21	華道	華道⑦【12月】季節感を考える(冬)		
22～24	華道	華道⑧【1月】人日(伝統行事)		
25～27	華道	華道⑨【2月】花と対話し自己表現		
28～30	華道	華道⑩【3月】季節感を考える(春)、上巳(伝統行事)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【華道】花鋏、花		課題・レポート 出席率 授業態度	70.0% 15.0% 15.0%	

科目名		学科/学年	時期	授業形態
伝承美学		トータルビューティ学科/ 2年	通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	30回	2単位(30時間)	必須	
授業の概要				
日本の伝統文化である華道や茶道について、実習を交えながら学び、日本のおもてなしについて理解を深める。1年次の華道では、季節の草花を用いた作品作りと日本の伝統行事について、2年次の茶道では茶盆点点法を通して、日本人としての美しい所作やマナーについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
日本の総合芸術を通じて、日本人が大切にしてきた美しい所作や立ち居振る舞い、美しい言葉づかいや感性を磨き、おもてなしの心を養う。そして、これからのグローバル社会の中でも活躍できる、自律した現代女性に相応しい一流の美を身につけることを目指す。				
教員紹介				
【茶道】遠州流で活躍している講師が、自身の経験に基づいて授業を行う。				
回	テーマ	内容		
1～3	茶道	茶道① 袱紗(帛紗)セット説明、畳でお軸拝見、ご挨拶の仕方。		
4～6	茶道	茶道② 茶道の歴史、茶道具の説明、割稽古(コキブクサ、タタミブクサ)、入席の仕方、畳の歩き方。		
7～9	茶道	茶道③ 割稽古(コキブクサ、タタミブクサ)、数グループに分けて亭主側、お客さま側でそれぞれお茶を点てる		
10～12	茶道	茶道④ 茶室について、茶室でのマナー、点前稽古		
13～15	茶道	茶道⑤ お菓子について、茶盆点の稽古		
16～18	茶道	茶道⑥ 濃茶、薄茶について、数グループに分けて茶盆点の稽古		
19～21	茶道	茶道⑦ 会席、点心について、数グループに分けて茶盆点の稽古		
22～24	茶道	茶道⑧ 数グループに分けて茶盆点の稽古		
25～27	茶道	茶道⑨ 数グループに分けて茶盆点の稽古		
28～30	茶道	茶道⑩ 茶盆点通しチェック		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【茶道】袱紗、扇子、菓子切り、懐紙、足袋(白い靴下)、袋		課題・レポート 出席率 授業態度	70.0% 15.0% 15.0%	